



お出かけは マスク戸締り 火の用心 全国統一標語

令和5年 3月1日(水) 7日(火)

春季 全国火災予防運動

問い合わせ 消防本部・署 ☎54-0119



田中勇希さん (36歳) 出初め式で一齐放水をやって、子どもに見せたい。

田中千恵さん (31歳) PRすることが好きなので、頑張ります。

館梨恵さん (32歳) 消防団活動で人と人のつながりを深めていきたい。

館一真さん (36歳) 日々の活動を通して地域に貢献できたら。

地域を守り、 家族を守る消防団

SBD

パートナー
新入団員夫婦、思いを語る。

今年度、新たに消防団の仲間に加わった第5分団(小方地区)の4人。晴海にお住まいの館さんと田中さん夫婦です。若い世代の加入が課題の消防団。パートナーと一緒に入団したということで、その思いを伺ってみました。

地域に密着した活動に参加

晴海に新居を構えた子育て世代のお隣さん同士。もともと大竹市生まれではない2家族が、新たに入団するきっかけは、館一真さんの思いから始まったようです。

「2年前に広島市から引越してきて、大竹に住むのであれば消防団に限らず、地域に密着した活動に参加してみたいと思っていました。たまたま市のホームページを見ていたら募集のことが出ていたので、話を聞いてみようかな」と。そう振り返る一真さん。

そのことを一真さんの妻の梨恵さんから聞いたお隣の田中千恵さんは、夫の勇希さんに話したそうです。

「妻がやたら勧めてきたんです」と苦笑する勇希さん。「消防団の報酬の話も聞いていたので。そこは大事なところ」。千恵さんは、しっかりと者のようです。

しかし、動機はそれだけではありません。

「子どもが生まれ、子育てで近隣の人のつながりを広げるのに、いいものはないかと思ってたときでもあった

消防団活動に励む

現在31人が在籍する女性消防団。栗谷地区や阿多田地区は、消防車が到着するまでの初期消火も重要な役目です。本部付けの女性消防団は、広報活動を主にしています。秋の火災予防運動や11月の『消防フェア』での広報活動に千恵さんも従事。「イベントは楽しかった」と思い返します。

「女性消防団の皆さんは優しいし、明るくて元気な人たち」。声をそろえる千恵さんと梨恵さんです。

一真さん、勇希さんは、日頃は、放水車などの毎月の点検活動をこなし、年2回行わ

れる規律訓練にも参加。まだ実際に火災などでの出動経験はありませんが、その意欲は感じることができそうです。

今年の出初め式は、残念ながら中止となりました。本来なら一真さんは、新入団員代表としての晴れ舞台だったのですが、少々残念な様子。

夫婦そろって入団し、会話もはずむようですが、子育て世代ならではの悩みも。

「土、日に出ることが多いので、子どもがまだ小さくて、夫か自分のどちらかしか出られない」。そう漏らす千恵さんです。

それでも、皆さんの言葉からは、地域を守る、それが大切な家族を守ることに繋がります。そう思わせてくれる消防団員夫婦でした。

敬礼のポーズがかっこいい詩織ちゃん(3歳)と、消防車が好きな悠月くん(2歳)。

期間中の行事(予定)

- 火災予防広報**
- のぼりの設置、ポスターの掲示、消防車による火災予防広報など
- 立ち入り検査**
- 対象は、市内の多くの人が出入りする建物(一般住宅を除く)や危険物を取り扱う会社など
- 消防署消防団合同訓練**
- とき 3月5日(日)8時から
- ところ 玖波・大人原新つがの橋、大迫、西山林道(谷和線)付近
- 林野火災を想定した消防訓練を実施します。
- 付近住民の皆さんには、通行やポンプの騒音などにより、ご迷惑をおかけいたしますが、ご協力をお願いします。
- ※行事は新型コロナウイルス感染拡大の状況により、変更または中止することがあります。

いのちを守る10のポイント

6つの対策

- ①火災の発生を防ぐために、ストーブやこんろなどは安全装置の付いた機器を使用する。
- ②火災の早期発見のために、住宅用火災警報器を定期的に点検し、10年を目安に交換する。
- ③火災の拡大を防ぐために、部屋を整理整頓し、寝具、衣類やカーテンは、防災品を使用する。
- ④火災を小さいうちに消すために、消火器などを設置し、使い方を確認しておく。
- ⑤お年寄りや身体の不自由な人は、避難経路と避難方法を常に確保し、備えておく。
- ⑥防火防災訓練への参加、戸別訪問などにより、地域ぐるみの防火対策を行う。

4つの習慣

- ①寝たばこは絶対にしない、させない。
- ②ストーブの周りに燃えやすいものを置かない。
- ③こんろを使うときは火のそばを離れない
- ④コンセントはほこりを清掃し、不要なプラグは抜く。

消防団員募集

消防団は若い力、女性の力を必要としています。自分の大切な町、大切な人を一緒に守りましょう。

問い合わせ 消防本部消防課 ☎53-7708

入団申請用QRコードです。



宝くじ助成金で消防団活動服を整備

問い合わせ 消防課 ☎537708

(一社)自治総合センターの令和4年度コミュニティ助成事業の助成金で、消防団に52着の活動服を整備しました。消防団活動の際、常に身に着け、現場での消防団員の安全確保などに活用します。

※自治総合センターでは、宝くじの社会貢献広報事業として、宝くじの受託事業収入を財源として実施しているコミュニティ助成事業で地域防災組織育成事業を支援しています。